

文書番号	11 - 01.01	品質マニュアル	版番号	第 1 版
5	リーダーシップ			
5.1	リーダーシップ及びコミットメント			
5.1.1	一般			
	社長は、次に示す事項によって、品質マネジメントシステムに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証する。			
a)	品質マネジメントシステムの有効性に説明責任を負う。			
b)	品質マネジメントシステムに関する品質方針及び品質目標を確立し、それらが組織の状況及び戦略的な方向性と両立することを確実にする。			
c)	当社の事業プロセスへの品質マネジメントシステム要求事項の統合を確実にする。			
d)	プロセスアプローチ及びリスクに基づく考え方の利用を促進する。			
e)	品質マネジメントシステムに必要な資源が利用可能であることを確実にする。			
f)	有効な品質マネジメントシステム及び品質マネジメントシステム要求事項への適合性の重要性を伝達する。			
g)	品質マネジメントシステムがその意図した結果を達成することを確実にする。			
h)	品質マネジメントシステムの有効性に寄与するよう人々を積極的に参加させ、指揮し、支援する。			
i)	改善を促進する。			
j)	その他の関連する管理層がその責任の領域においてリーダーシップを実証するよう、管理層の役割を支援する。			
5.1.2	顧客重視			
	社長は、次の事項を確実にすることによって、顧客重視に関するリーダーシップ及びコミットメントを実証する。			
a)	顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を明確にし、理解し、一貫してそれを満たしている。			
b)	製品及びサービスの適合並びに顧客満足を向上させる能力に影響を与え得る、リスク及び機会を決定し、取り組んでいる。			
c)	顧客満足向上の重視が維持されている。			
5.2	方針			
5.2.1	品質方針の確立			
	社長は、次の事項を満たす品質方針を確立し、実施し、維持する。			
a)	組織の目的「 <b>企業理念</b> 」、「 <b>基本精神</b> 」及び状況に対して適切であり、組織の戦略的な方向性を支援する。			
b)	品質目標の設定のための枠組みを与える。			
c)	適用される要求事項を満たすことへのコミットメントを含む。			
d)	品質マネジメントシステムの継続的改善へのコミットメントを含む。			
5.2.2	品質方針の伝達			
	品質方針は、次の事項を満たす。			
a)	文書化した情報として利用可能な状態にされ、維持される。			
b)	組織内に伝達され、理解され、適用される。			
c)	必要に応じて、密接に関連する利害関係者が入手可能である。			

## 経営理念

私たちは、「まちづくりのコーディネータとして、高度な技術と誠実な心をもって、地域社会の発展のために『インフラ整備の最適解』を提供するとともに、会社の健全な発展と社員の生活向上を図る。」

## 基本精神

1  
感性を豊かに持とう

2  
可能性をさがそう

3  
永続・永遠性を追求しよう

## 品質方針

- 1.顧客の信頼と満足が得られる「質の高い成果・サービス」を提供します。
- 2.技術の確保・向上に努め、社会や顧客のニーズに応える提案を行います。
- 3.品質マネジメントシステムの有効性を検証し、継続的に改善を行います。
- 4.法令・規制・顧客の要求事項等を守り、コンプライアンスを徹底します。

## 全社目標

全社全体の品質目標を「ミス、クレームの『ゼロ』を目指す」を設定し、部門別に業務に応じた品質目標を定め、必要に応じ、これを見直します。

作成日:2022/11/01

作成者:代表取締役 藤田 茂久